



まがたま

一人一人が輝く学校・地域と共に歩む学校

令和5年 11月30日
豊玉中学校だより No. 7

【E-mail】 shimura.osamu@nerima-ky.ed.jp

【URL】 <http://www.toyotama-j.nerima-ky.ed.jp>

令和5年も残りわずか一月あまりとなりました。立冬の迎えた前日にはまだ夏日（最高気温25度以上）となり、そして一週間も経たないうちの13日には3年ぶりの「木枯らし1号」・・・。秋らしい季節を感じられず、夏から一気に冬になってしまったような気候に、寂しさを感じつつ体がついていかない皆さんも多いのではないのでしょうか。毎回の決まり文句のようになってしまっていますが、くれぐれもご自愛ください。

さて11月は東京都教育委員会の定めた「ふれあい月間」です。ふれあい月間とは、いじめや不登校、犯罪・非行等や暴力といった問題行動を未然に防止し、早期発見・対応を行うなど、子どもたちの健全育成を目指すことを目的として設定されています。特に練馬区では11月を「いじめ一掃取組月間」とし、いじめ根絶の指導強化のため様々な取組を実施しています。本校でも年3回のふれあい月間アンケートのほか、毎月の「生活アンケート」を行い生徒たちの人間関係を把握したり、必要に応じて詳しく話を聞いたり、週1回の会議を開催するなど組織的な対応をしています。また、11日（土）には、道徳授業地区公開講座において、各学級で「生命の尊重」をテーマに道徳科の授業を行うとともに、全国強制抑留者協会の服部寛氏を講師として「満州からの引き揚げ～シベリア抑留・もう一つの悲劇～」の演目で講演会を開催しました。さらに、20日（月）の全校朝礼にて、校長から「人権尊重」の視点で講話を行いました。

以下が校長講話の内容になります。

今回は「人道の4つの敵」という話をします。

先日11月11日の土曜授業で、講演会が開催されました。「命の授業」として全国強制抑留者協会の服部寛さんによる「満州からの引き揚げ～シベリア抑留・もう一つの悲劇～」という演目でお話を伺いました。第二次世界大戦の末期、不可侵条約を一方向的に破棄し、侵攻してきたソ連によって、満州国で暮らしていた人々が受けた苦しみや悲しみを実際の体験をもとに、自分の目で見て、自分の耳で聞いて、感じたままに話してくださいました。戦争は人間の生命や人権を奪うものであり、人間の戦争を二度と起こしてはいけない、といったメッセージが込められていました。

当然、戦争など無くなればよいのですが、実際世界に目を向けると戦争はなくなっていないです。ニュースを見れば、ウクライナ戦争やパレスチナの戦闘などが報道されています。現在日本は戦争が無く平和な世の中です。しかしながら人間の命や人権は守られているのでしょうか。人権とは端的に言うと「人が人として、社会の中で、自由に考え、自由に行動し、幸福に暮らせる生まれながらにして持っている権利」のことです。どうでしょうか・・・。戦争のない平和な日本でも殺人事件、暴力や事故、強盗、虐待、誹謗中傷など、決して命や人権が守られているとは言い切れません。

さらに学校ではどうでしょう。仲間はずれや暴力、悪口やSNSを使った誹謗中傷などいわゆる「いじめ」は確実に人権侵害になります。度を越し他人を追い詰めれば犯罪行為にもなります。ではどうすれば人権を守り、みんなが安全で安心して生活できる学校にすることができるのでしょうか。道徳科の授業や日常の学校生活において先生や友だちから多くのことを学んでいると思います。

そこで最後に私からは「人権を守り、みんなが平穏に生活できることを念頭に置いた活動をするうえで克服すべき弱点、『人道の4つの敵』について」話をします。

一つ目は、「利己心」です。言い換えれば「自己中」のほうがりわかりやすいかもしれません。自分さえ良ければいい、自分だけが大切である、と考えることです。

二つ目が、「無関心」です。利己心ともつながりますが、自分以外の他人が困っていても気付かないふり、見てみないふり。誰かがやるだろう、助けるだろうと何も行動しないことです。

三つ目が、「無知」です。誰かが助けを必要とする場面に直面したときに、「知らなかった」あるいは「知らずしてしない」こと。また助けよう、手伝おうと思ってもやり方や方法を知らないでいること。つまり「認識不足、勉強不足」のことです。

最後の四つ目が、「想像力の欠如」です。他人の気持ちを感じられない、人の立場になって考えることができない、他人のことを優先する気持ちや思いやりの気持ちに欠けることです。また自分の言動がどのような影響を与えるか、先々どうなってしまうのかを想像することができないことです。

この「人道の4つの敵」は戦争中の地域や災害の起きた地域で活躍している「赤十字」という組織が人道的活動をするうえで障壁となるものとして考えられているもので、今日は学校生活に置き換えて話をしました。ぜひ、自分の言動を振り返り、4つの敵を克服し、自分の人権を守るのと同じくらい他人の人権を尊重し、豊玉中学校のみんなが幸せになれるよう意識をもって学び続け、生活していったほしいと思います。

ご家庭におかれましても、お子さんを見て「様子がおかしい」「いつもと違う雰囲気だ」などお気付きの際には、学校にもご相談ください。共に健全育成を進めて参りたいと思っております。これからもよろしくお願いたします。

～道徳授業地区公開講座～

主幹教諭 谷 信彦

11月11日(土)、道徳授業地区公開講座が行われました。各教室での道徳授業の後、体育館で講演会が行われました。

講師：一般社団法人 全国強制抑留者協会 服部 寛さん
「満州からの引き揚げ～シベリア抑留・もう一つの悲劇～」



講演会では、服部さんが小学生の頃に体験された事実を語ってくださいました。その場にいた参加者全員が真剣に耳を傾け、戦争の悲惨さと生命の尊さについて改めて考えることができたようです。

<以下、生徒の感想より>



今僕たちは当たり前ですが、そのためにたくさんの人々の命が犠牲になっていることを知りました。僕はこれから、今まで以上に命を大切に生きていきたいと感じました。(1年生)

戦争の時のことを、実際に感じた人にしか分からない光景や心情を、話していただいたことがとても印象的でした。服部さんが「戦争などの無駄な争いをせず、幸せに生きてほしい」と涙を流しながら伝えてくださったことを絶対に忘れず生きていこうと思いました。(2年生)

本当に私たちが伝えていくべきなのは、教科書などでは知ることのできない、実際に経験をした人からの言葉に込められた怒り、悲しみ、恐怖、そして戦争を許してはいけないという強い感情であると思いました。(3年生)

～1年校外学習～

教諭 湯本 清人

11月24日(金)下町浅草を中心に1年校外学習が行われました。

当日に向けての準備では、自分たちでコースを決めたりと初めて経験することが多かったと思います。それでも諦めることなく、困難なことも班で協力しながら、自分の役割を責任もって取り組んでいる姿にこの学年の成長を感じることができました。

迎えた当日は、大きな事故やトラブルもなく、またハプニングがあった時にも落ち着いて対応することができていたので大成功で終えることができたと思います。

2年生、3年生になって今回の校外学習の経験を生かしてくれることを願っています。



12月の予定

- 12月 1日(金) 個人面談始(全学年) *給食後下校
- 12月 5日(火) 3年地域連携授業(国語科 書写)
- 12月 8日(金) 個人面談終(全学年)
- 12月 9日(土) 土曜授業・学校公開日・校内ダンス発表会(1,2年)
*PTA主催 学校・地域懇親会(14:00～)
- 12月15日(土) 2年地域連携授業(国語科 書写)・スキー移動教室保護者会(2年)
- 12月25日(月) 終業式

